

# びろっば

Vol. 454 2024. 5



医療情報

消化器病センター長 就任

日本褥瘡学会 中国四国地方会学術集会 開催

能登半島地震 介護職員等の応援派遣報告

ありがとうを伝える運動

看護部 新体制へ

表紙の写真

2024年度  
初期研修医の皆さん

近森病院

近森リハビリテーション病院

近森オルソリハビリテーション病院

からのお知らせ

2024年度の右記の祝日は、通常どおり外来診療をいたします ▶ 2月11日(火)〈建国記念の日〉

# 消化器病センター センター長就任



近森病院 消化器病センター  
センター長 **濱田 円**  
はまだ まどか  
就任日 / 2024年4月1日

超高齢化社会、  
増加をたどるがんに  
立ち向かう

## 来し方

みなさんこんにちは。消化器病センターの濱田 円です。  
私は、高知県安芸市出身で、土佐中、土佐高、岡山大学で学び外科医になりました。岡山大学第一外科の関連病院で外科修練を受け、医学博士を取得した後、高知県立中央病院-高知医療センターで13年間消化器外科医として勤務し、2000年ごろから腹腔鏡による消化管手術を始めました。特に直腸がんに対する安全で確実な術式開発に全国の仲間とともに力を注ぎ、国内外に発表、論文を通じて発信することが出来ました。この成果が評価され2013年10月から、関西医科大学 消化管外科で様々なチャレンジを行うことが出来ました。

## 行動指針 ~診療科を超えて患者さんのために~

直腸がん手術の根治と機能温存両立のためには、統合された術前診断、術前治療、手術、病理診断、術後補助化学療法、長期

予後管理が必要です。これまで、内科、放射線科、病理診断科の協力の下、診療科を超えて取り組んだ一連の中下部進行直腸がん症例は、無用な永久ストマを回避しつつ局所再発が見られず、大きな意義を示すことが出来たと思っています。

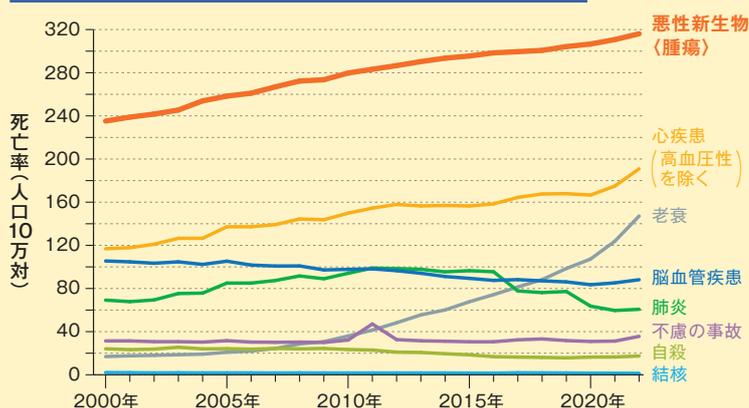
## 求められる病院に最も近くなるように

著しい速度で超高齢化社会を迎える日本で、がん患者さんは増加の一途をたどっています。たとえがんに罹患しても、可能な限り障害を回避し、出来るだけ楽に、低コストで健康な体に戻せる治療が強く望まれています。

この望みは一つの診療科ではもはや成し得ることは出来ません。求められる明日に、近森病院が最も近い病院だと思われるように、皆で協力して消化器疾患に立ち向かえるように努めたいと考えています。

よろしくお願ひします。

主な死因別にみた死亡率(人口10万対)の年次推移



※厚生労働省 令和4(2022)年 人口動態統計(報告書)より作成

### 【略歴】

- 1987年 岡山大学医学部 卒業
- 1987年 岡山大学整形外科 研修医
- 1988年 岡山大学第一外科
- 1998年 高知県立中央病院 外科医長
- 2005年 高知医療センター 一般外科医長
- 2011年 高知医療センター 消化器外科 主任医長
- 2012年 広島市民病院 外科部長
- 2013年 関西医科大学 消化管外科 診療教授

### 【認定資格】

- 日本外科学会 認定医・専門医・指導医
- 日本消化器外科学会 認定医・消化器外科専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- 日本内視鏡外科学会 技術認定医(大腸)
- 臨床研修指導医
- da Vinci Console Surgeon Certificate

# 第24回 日本褥瘡学会 中国四国地方会学術集会

## レジリエント・コミュニケーション in 高知

会場／高知市文化プラザかるぽーと7階

2024. 3/17



会長／  
近森病院 形成外科 部長  
**赤松 順**  
あかまつ じゅん

『職種を超えて再発見』をサブテーマに、コロナで失った人と人との協働を再構築できる様に、弾力性のある回復力をイメージして学会を開催しました。特に地方会は専門家が集まる全国の学術集会と違い、多くの皆さんに褥瘡を知ってもらい、現場でのワークシェア／シフトに役立つ企画を行いました。

医療安全との関わりが深いMDRPU(※)を中心に一般演題は10題で、医師、栄養士、薬剤師、専門看護師、企業開発者、診療介護報酬の専門家による特別講演も7題実施しました。フットケア、陰圧閉鎖療法、創傷衛生、メンテナンスデブリードマンなど実践に即したハンズオンセミナーが4件。学会参加の敷居を下げる為、RCボード企画として「これってどうなの？どうしよう?」や「迷えるDESIGN-R®2020」など、近隣施設や皮膚排泄ケア認定看護師の協力で展示を行い、様々なご意見も頂戴しました。

チーム高知として中心的に関わってくれた方。展示準備から会場運営まで様々に関わってくれた近森会スタッフ。呼びかけに応じて職種を超えて集まっていたいただいた方々。当日は、天候もすぐれない中、正会員数を上回る263名にお集まりいただき、盛会裏に終了することができました。様々な出会いや学びが有りました。是非とも日常の臨床に役立ちますことを祈念し、改めて謝意を表しますとともに厚く御礼申し上げます。

※MDRPU…医療関連機器圧迫創傷

皆さんに褥瘡を知ってもらい、ワークシェア・シフトも意識した企画で

### 特別フォーラムI



「急性期から地域につながる栄養管理 ～タスクシフト・タスクシェアの時代に向けて～」  
宮島 功(臨床栄養部 部長:写真左)と、司会の真壁 昇氏(関西電力病院 疾患栄養治療センター:写真右)



### 特別フォーラムII



「褥瘡の薬学的管理 ～私たち薬剤師に出来ること～」  
筒井 由佳(薬剤部 部長)

### ハンズオン1



フットケア入門 ～爪切りから始めよう!!～

### ハンズオン4



最新のデブリードマン体験  
～超音波デブリードマンとウインドクロスを用いて～

### 総会



高知医療再生機構 理事長 倉本 秋先生へ、日本褥瘡学会 中国四国地方会 代表世話人 橋本 一郎先生から名誉会員授与。



RCボード企画「迷えるDESIGN-R®2020」、  
ボードを通してのコミュニケーション。



学会発表

新しい炎症性筋疾患の検査のために  
～多くの患者さんの治療に有益な成果を～

2024年3月13～16日 / アメリカ・ピッツバーグ

近森病院  
リウマチ・膠原病内科  
科長  
吉田 剛 よしだ たけし



学会名 | GCOM2024 -Global Conference on Myositis-

演題 | Concurrent Quantitative Analysis of Ultrasound and Magnetic Resonance Imaging in Patients with Myositis (炎症性筋疾患患者における超音波とMRIの同時定量分析)

炎症性筋疾患を掘り下げる国際会議で

「GCOM2024」は、炎症性筋疾患という特定のリウマチ性疾患を深く掘り下げる場となっています。私たちの発表は、多くの方にご覧いただき、この分野の研究者や専門医の方々と議論を交わす機会に恵まれました。この経験は、私たちの研究にとって非常に価値があり、参加者からの貴重なご意見を頂戴しました。



私たちの研究

この研究は、徳島大学脳神経内科、高知大学医学部附属病院、近森病院が

協力して行う多施設共同研究の中間解析結果です。超音波検査とMRIを用いて、患者さんが有する筋肉内の炎症をより明確に理解し、効果的な治療法の導入につなげることを目指しています。今回は、我々のグループが推進する超音波検査による評価が、MRIと比較しても同等かそれ以上の高い精度を有することを確認しました。患者さんの症状や治療への反応に差があることを踏まえ、このような先進的な技術を駆使することで、より個別化された治療の提供に一歩近づけると考えています。

今後も尽力して参ります

私たちは、患者さんの健康と生活の質の向上を目指し、研究をさらに進めていく所存です。この研究が将来、多くの患者さんにとって有益な成果をもたらすことを願っています。ご支援とご期待に応えられるよう、尽力して参ります。

講演会

近森病院 第172回 地域医療講演会『終末期ディスカッションとDNAR』

東京ベイ・浦安市川医療センター 救急・集中治療科  
集中治療部門 部長 / 呼吸器内科 部長 / センター長補佐 則末 泰博先生  
(2024年2月22日 / Webinar 同時開催)

DNARを適切に解釈する第一歩!

近森病院 循環器内科 科長 / 集中治療センター 細田 勇人  
ほそだ はやと

今回は則末泰博先生にDNARの適切な解釈や終末期の考え方についてご講演いただきました。

多数の併存疾患を有する高齢患者さんに接する機会の多い現状で、終末期の理解は必須です。そこで必ず議論にあがるのがDNAR (Do Not Attempt Resuscitation: 心肺蘇生を行わない) かどうかです。

DNARと言葉にするのは簡単ですが、患者さんの状態・背景からDNARを取得すべきかを的確に判断するのは簡単ではありません。急性期は特に患者背景が不明瞭なことも多く尚更です。さらに、DNARという言葉の解釈が不十分のために、必要な医療が提供されなかったことや、不必要な心肺蘇生が行われたことが報告されています。

今回の講演会を通じてDNARを含む終末期に関する言葉の整理ができ、疑問が晴れました。より質の高い患者さん中心の医療へ繋げていければと思っています。



前列中央: 講師 則末先生、右隣: 筆者

## 資格取得

## 精神科専門医

## 更なる可能性のために

近森病院 総合心療センター 精神科 科長 森 学美  
もり さとみ



この度、精神科専門医を取得することができました。レポート提出から始まり、筆記試験、口頭試問と道のりは長く、先輩・同僚の先生方のサポートなしでは成し遂げることはできなかったと思います。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、救急科専門医と合わせ、2つの専門医資格をどう統合し活かしていくか悩んでおります。現在、電気けいれん療法における麻酔管理や全身管理と精神症状の評価、また摂食障害患者の身体と精神の管理においては答えが出た部分もありますが、まだ可能性は広がると考えております。今後も自科や他科の先生方のご助力が必要不可欠であり、これからもスタッフをはじめ皆様にお世話になるとは思います。よろしくお願いいたします。



## 講演会

## 高知医療再生機構講演会・シリーズ企画『高齢者を診る・識る・癒す』

## 第一人者から日常臨床に役立つ高齢者診療のポイントを学ぶ

学術担当顧問 土居 義典 とい よしのり



2023年度のシリーズ企画の第1回の大阪大学の忽那賢志教授は、メディアを通して一般の方々への啓発活動にも努めておられます。今回は新型コロナウイルス感染症薬物治療の最新情報をわかりやすく解説していただき、30名を超える参加者がありました。

第2回の講師の長寿医療研究センターの佐竹昭介部長は高知医科大学の7期生で、今回はフレイル・サルコペニアなど高齢者での問題点をふまえた診療のコツを教えてくださいました。

第3回の講師の自治医科大学の苅尾七臣教授は、高血圧の領域で1,000編を超える英文論文を発表され、世界的に活躍されています。高齢者を診療する上で血圧の変動（サージ）に着目することの大切さや、dipper/non-dipperなどの最新情報をどのように生かすか、などについて御講演いただきました。

我が国の第一人者の先生方による御講演を通して、日常臨床に役立つ高齢者診療のポイントを学ぶことが出来たと思います。

## 第1回

2024年1月5日(金)



**演題** COVID-19薬物治療の考え方

**講師** 忽那 賢志 先生  
(大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授)

## 第2回

2024年2月9日(金)



**演題** Healthy Ageingの概念を踏まえた高齢者診療

**講師** 佐竹 昭介 先生  
(国立長寿医療研究センター 老年内科 部長)

## 第3回

2024年3月1日(金)



**演題** 高齢者を診る・識る・癒す -高血圧の最新知見-

**講師** 苅尾 七臣 先生  
(自治医科大学内科学講座 循環器内科学部門 教授)

# 研修

## 修了報告

### 県外ドクター

## より良い医療の提供のために

研修期間 / 2024年2月1日～3月15日

佐賀大学医学部附属病院  
循環器内科

新里 広大 先生  
しんざと こうだい

### デバイスの進歩により要求されるテクニックと知識

不整脈には様々な種類がありますが、徐脈（脈が遅くなること）を発症する理由の一つに、心臓の電気の流れが何らかの理由で障害されることがあります。不可逆的な理由の場合はペースメーカーが必要となり、ペースメーカーを体内に埋め込むことで、脈拍数は正常となり自覚症状は改善します。

しかし、現在多くの施設で行われている従来の方法では、長い年月をかけ心臓に負担がかかってしまう方がわずかながら存在するのも事実です。

そこで近年、より正常な電気の流れに近づけたペースメーカー埋め込み（生理的ペーシング）が技術的に可能となりました。しかし、より高度なテクニックと知識が必要となるため、現在は限られた施設でのみ実施されています。その施設の一つが、近森病院です。

### 充実の研修

#### ～刻々と変化する細やかな所見に注目し、繊細なコントロールで

今回、三戸先生をはじめ多くの先生のご協力のもと近森病院で約6週間、生理的ペーシングの修練をさせていただきました。刻々と変化する細やかな所見に注目し、繊細なコントロールで手技を行なっており感銘を受けました。今後は、佐賀大学医学部附属病院に戻り佐賀県の医療向上のため、近森病院で会得した知識や技術を生かし邁進していきます。

### 感謝をこめて

サポートをいただきました院長 川井先生をはじめ、循環器内科の先生方、また多くの病院関係者の方のおかげで、このような素晴らしい機会を得ることができました。本当にありがとうございました。

また院外では高知の素晴らしい、お酒や食事も堪能できました。夏に開催されるよさこい祭りも一度見てみたいものです。

◀ 不整脈チームで集合写真。後列左から4人目：新里先生、右隣：三戸部長。



三戸部長の手技を実際に見て学ぶ新里先生(左)



## 健康教室

初開催!

# 腎臓病教室 を始めました

第1回 / 2024年2月20日

近森病院 透析室 看護師長  
西村 剛 にしむら つよし



左から、筆者、吉村部長、宮島部長



近森病院7階透析室前の待合室にて開催

今回、近森病院ではじめての腎臓病教室を開催しました。教室では、腎臓内科の吉村和修部長と臨床栄養部の宮島功部長に、リンのコントロールについて講師を依頼し、たくさんの方に参加いただけました。

参加者からは好評で、今後の開催への希望も聞かれました。現在、不定期的開催ですが、定期的に開催できるように計画していきたいと思っております。

# 2023年度 近森病院 看護師特定行為研修 修了式

2023年度  
看護師特定行為研修  
修了式



## 自施設での活躍を願って

近森病院 看護師特定行為  
研修指導責任者 看護師長  
山脇 久男 やまわき ひさお

2023年度の看護師特定行為研修は栄養コース2名、創傷コース4名、麻酔コース2名、外科系基本コース2名、集中コース2名、救急コース2名、計14名の受講生を迎えて6月1日より研修をスタートしました。仕事と両立しながら250時間のe-learningによる講義・演習というハードな日程を終え、11月より実習、そして3月23日に14名全員で修了となりました。約10か月におよぶ研修も受講生全員が協働・協力し乗り越え、受講生は多くの学びを得ることができました。



修了生が今後、自施設で大いに活躍してくれることを切に願いつつ、2023年度特定行為研修にご協力いただいたすべての皆様へ厚く御礼申し上げます。

## 色濃い キャラクターの 仲間たちと

8期生 修了生代表  
近森病院 6階A病棟 主任  
看護師  
田中 泰良 たなか たいら



(外科系基本コース修了)

看護師特定行為研修第8期生は様々な地域・医療現場から様々な色濃いキャラクターの受講生が集まり年齢を問わず、日々、切磋琢磨し和気藹々、意気揚々、欧陽菲菲しながら半年間、真剣に看護と患者さんと自分に向き合って参りました。特定行為研修を受講し、患者さんを通して自分の経験則をより理論付けて解釈しようとする力や、それを他の人に説明する力が身についたのではないかと考えます。インフルエンザ、新型コロナウイルス、溶連菌など様々な困難もありましたが、受講生14名全員で修了できたことをうれしく思います。この繋がりをきっかけに各地域で各分野の理解を深め安全に特定行為を実施していく所存です。

2024年3月23日



Power up!  
元気そう!

## 近森病院 公開県民講座

6.2日 14:00～13:30 開場  
高知県民文化ホール(グリーン)

**無料** 当院の「強化した、している治療や取り組み」をご紹介します。一緒にパワーアップしていきましょう!

会場参加の場合はお申込不要、オンライン配信のお申込はこちらから→

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 14:00 開会あいさつ          | 近森会 理事長 入江博之        |
| 14:05 乳癌治療の今          | 乳腺センターセンター長 杉本健樹    |
| 14:20 社会人学生のための学び直し教育 | 近森病院附属看護学校 学校長 山崎正博 |
| 14:30 手術しないで治せる直腸癌    | 消化器病センターセンター長 濱田円   |

### 休憩

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 15:00 急変を未然に防ぐ!    | クリティカルケア認定看護師 池澤友朗 |
| 15:15 「病院薬剤師」のトリセツ | 薬剤部 部長 筒井由佳        |
| 15:30 お金をかけない地震対策  | 災害対策委員会 委員長 井原則之   |
| 15:45 開会あいさつ       | 近森病院 院長 川井和哉       |



## プロフェッショナルとして

初期臨床研修管理委員会 委員長 三木 俊史  
近森病院 救急科 科長 みき としふみ

近森病院プログラムの10名が2年間の、高知大学たすきがけプログラムの2名が当院での1年間の初期臨床研修を修了し、3月22日に修了証書授与式および懇親会を行いました。新型コロナウイルス感染症の大規模流行も落ち着き、久々に懇親会を開催することができ、楽しい時間を過ごすことができました。

4月から医師の働き方改革が本格的に始まっていますが、医師としてプロフェッショナルであるため、情熱をもってこれからも努力を積み重ねていってください。初心を忘れず、常に謙虚に、日々感謝の気持ちでこれからも頑張ってください。それぞれの今後のご活躍を期待しています。



## 2022年度 初期臨床研修医

### 高知に帰って来たい

池上 勇人 いけのうえ はやと

近森病院での2年間はあっという間でした。右も左もわからない中、多くのスタッフの方々に支えていただき感謝しています。たくさんご迷惑をおかけしましたが、皆様にお力添えいただき無事初期研修を終えることができました。4月からは県外の病院に進みます。しっかりと勉強して高知に帰って来たいと考えています。



### 初期研修を終えて

大原 桃子 おおはら ももこ

医師としてのスタートラインに立った2年前の4月が、ついこの間のこの様ではありながらも、確実に積み重なった日々の重さをひしひしと感じています。自分の技術・勉強不足にお尻を叩かれて走り回ってばかりの私を支え、多くの経験をさせてくださった近森病院の皆様には、本当に感謝しかありません。これからも頑張ります。



### 2年の研修を終えて

小田 吏欧 おだりお

2年間の研修を振り返ってみて、最初は業務を覚えるのに必死でしたが、近森病院の皆さんに手助けを頂き、徐々に余裕を持って診療に当たることができるようになってきたと日々感じています。

近森病院を離れてしましますが、この2年間の経験を活かして、今後も頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。



### お世話になりました!

木村 和俊 きむら まさたか

近森病院での研修を振り返ってみると、自分の成長を大きく感じることができます。

最初は知識もなくパソコンを打つのも遅い僕でしたが、人並みには成長できたと思います。これも全て近森病院の皆さんのおかげです。ありがとうございました。近森病院を離れてしましますが、次の病院でも頑張ります。



## 2023年度 近森病院 研修医修了証書授与式および懇親会

久しぶりに懇親会も  
開催できました!



## 本当にありがとうございました

城 可方 じょう かほ

近森病院での研修は短いような長いような本当に密度の濃い2年間でした。自分の無力感から泣いて過ごした日々もありましたが、今まで関わってきた方々の支えのおかげでとうとうここまで来ることができました。この全ての出会いに感謝を忘れず、今後も努力を続けていきたいと思えます。ありがとうございました。



## 2年間の感謝を込めて

高本 琴子 たかもと ことこ

何もわからない私でしたが、指導医の先生をはじめ、コメディカルの方々に支えていただき、無事研修を終えることができました。まだまだ未熟者ですが、最初の自分よりは成長を感じることができ、近森病院で研修することができてよかったと心から思っています。4月からは埼玉で小児科医として頑張ります。ありがとうございました。



## ありがとうございました!

竹田 有佑 たけだ ゆうすけ

2年間着たスクラブもいい感じに色あせ、時の流れを感じます。上級医の先生方、コメディカル、事務員のみなさんの支えがあり、研修を終えることができました。本当に感謝しています。4月からは新天地で脳神経外科医として働きます。これまでの恩返しができるよう、成長して帰ってきます。また一緒に働いてください!



ベスト研修医賞を受賞した竹田有佑医師。  
三木委員長と、プログラム責任者の  
杉田部長とともに。おめでとう!

## 2年間ありがとうございました

橋本 温子 はしもと あつこ

4月～近森病院 循環器内科へ

近森病院での2年間は忙しい日々でしたが、指導医の先生方を含めスタッフの皆様方に支えられながら毎日充実した研修をさせていただくことができました。



4月からは引き続き近森病院で勤務させていただくことになりました。まだまだ学びの日々は続きますが、これまでの研修で培った知識と経験を活かし、成長できるよう頑張っていきたいと思えますので、これからもよろしくお願いたします。

## 2年間 ありがとうございました

三浦 格 みうら ただし

この2年間はあっという間で、研修医1年目の4月がつい最近のことのように感じるほどでした。どの科でも充実した研修をさせていただき、常に成長を感じられる2年間でした。4月からは高知大の脳外科プログラムに進みます。また、近森病院にも戻ってきます。これからもよろしくお願いたします。



## 成長を感じた2年間

山内 涼平 やまうち りょうへい

4月～近森病院  
循環器内科へ

2年間の研修を終えて、最初のころは上級医に聞かないと何もできなかったけれど、自分で判断し対応できることが増えて、成長を感じています。4月からも近森病院の循環器内科でお世話になりますので、日々精進してまいります。2年間、近森病院で研修できてよかったと思います。今後ともよろしくお願いたします。



## 高知大学たすきがけ 1年目修了

### あっという間の1年間

井上 愛美 いのうえ まなみ

1年目をスタートしたときは、急性期病院である近森病院で研修することにとっても緊張を感じていましたが、高め合える同期と優しい先輩や先生に恵まれ、楽しく充実した1年間を過ごすことができました。近森病院で得られたものを4月からの高知大学での研修に生かして、さらに成長できるよう精進していきたいと思います。



### 1年間研修を終えて

松本 一真 まつもと かずま

4月のERから始まり消化器内科や形成外科など1年を通して近森病院では内科から外科まで幅広くかつ数多くの疾患や手技を経験させていただきました。また医学的なことだけでなく、患者様に対しての説明の仕方や電話での対応なども多く学ぶ機会がありました。次の研修先でもこの経験を活かしていけるように頑張ります。



2024年2月25日

# 「能登半島地震の発生に伴う 介護職員等の応援派遣」へ参加して

社会福祉法人 ファミリーユ高知  
しごと・生活サポートセンター ウェーブセンター長

沼慶子 ぬまけいこ



1. 派遣先のいしかわ総合スポーツセンター。 2. 段ボールベッドが設置された2畳ほどの室内。  
3. 車いすが並ぶテントから、高齢者や要支援者が多いことが分かる。 4. 全国の応援派遣者とともに。

## 観光客と避難所とのギャップを見た金沢市

現地に派遣されるまで、何をするのか、震災の爪痕が残っているのか、ライフラインがどれほど復旧しているのか全く分からない状況でした。実際に金沢市に到着すると震災の被害は見られず、海外からの観光客で賑わう駅とニュースで見た被災状況とのギャップに驚きました。

金沢市からスポーツセンター(以下「スポセン」という)までの車移動でも震災の影響は見られませんでした。スポセンの1.5次避難所(※)の体育館へ入ると別世界が広がっていました。

### 1.5次避難所、約140名の要支援者や要介護者などが生活

200を超える緑のテントが整列し、そこに入居している避難者の方々とともに様々な職種の支援者が活動していました。派遣されている介護職員は15名程度、北海道から九州まで全国から派遣されていて、期間もそれぞれのようなものでした。

到着してオリエンテーションが終了するとすぐに介護が始まりました。8時~20時、20時~8時の12時間勤務の交代制で食事の配膳や見守り、3時間ごとのトイレ誘導と介助、入浴誘導と介助、必要であれば班長に確認し保健師や看護師、専門職につなぎ対処しました。現場では数種の感染症が流行しており曝露の危険性はあったのですが、躊躇する間もなく介護を実施し、就寝はスポセン内の一室で段ボールベッド、入浴は近くの銭湯へ通い、あつという間の3日間でした。

### 直接的な介護以外の役割

最も印象的だったのは、被災後の不安や緊張で張り詰めた空気の中で、介護員たちが活力と笑顔を持ち、陽だまりのように温かく、優しく皆を勇気づける存在となっていたことです。実は、それが最も大切な私たちの役割なのかもしれません。

※1.5次避難所…ホテルなどの2次避難所に入るまで一時的に被災者を受け入れる施設。

時間と季節感覚を失う環境のため、▶季節を感じられるイベントも。



## 派遣スタッフ



※筆者

ウェーブセンター長  
沼慶子 ぬまけいこ



ウェーブ介護福祉士  
根木 紀佳 ねぎ のりか



ウェーブ介護福祉士  
森矢 圭吾 もりや けいご

※2月5日取材時のインタビューより

# 栄養で支えるがん治療

近森病院 臨床栄養部

近森病院 臨床栄養部  
管理栄養士  
田部 大樹  
たべ だいき



## がん治療とビタミン

前回まではたんぱく質、炭水化物、脂質の三大栄養素についてお話してきました。今回はビタミンについてです。

患者さんの中には、「〇〇という雑誌でビタミンが良いと聞いたから、ドラッグストアでサプリメントを買った」と教えてくれる方がいます。実際、そのサプリメントはどのような効果があるのでしょうか？

海外での報告では、乳がんの患者さんを対象に抗酸化ビタミン(A、C、Eなど)のサプリメントを治療前や化学療法中に使用した場合、むしろ再発率を上げるリスクを含むことが示されました。ですが、これは「サプリメント」として摂取した場合の結果でした。

食事からの摂取量を含む報告では、ビタミンB12もしくはDを10μg摂取した場合に膀胱癌の再発リスクを25~27%低下させたとのこと。前回も登場した秋刀魚であれば、1匹摂取すればビタミンB12とDをどちらも10μg摂取出来ます。秋刀魚をはじめとした青魚はビタミンだけではなく、前回まででお話したたんぱく質や良質な脂質を栄養素として含むので、がんの治療中にはもってこいの食材です。ただ、「がん」の治療において、万能な食品やサプリメントはないので、しっかり食事を摂取し体重を減らさない心がけが基本となります。

がん患者さんへのいくつかの研究で、**同じビタミンでも摂取方法でリスク・効果が違うことが示唆されています!**



シリーズイメージキャラクターモリンちゃん

## すまいる♥ナース通信

# 専門看護師

困難の中で私にできることを探して



近森病院 救命救急病棟 看護師/リエゾン精神看護専門看護師 後藤 麻友  
ごとう まゆ

私は学生時代より精神科看護師を志し、第二分院の時代からずっと精神科に育ててもらいました。急性期精神看護しか経験のない私がリエゾン精神看護に興味を持ったのは、身体精神合併症の患者さん・ご家族のケアをさせていただいたことがきっかけでした。

身体科と精神科という制度の狭間で困難を抱えている患者さんやご家族がたくさんいらっしゃり、精神看護の専門性が必要とされる場合は精神科だけではないと教わりました。

できることはまだ少ないですが、病棟チームの厚いサポートもあり、駆け出しのリエゾン精神看護専門看護師として歩み始めています。狭間の架け橋を担う活動を通して、精神看護やメンタルヘルスがより身近になり、患者さん・ご家族だけでなく、職員からもリエゾンチームを活用いただけるよう、末席の専門看護師としてこれからも精進して参ります。

## 2025年度 近森会グループ 看護部職員採用試験

第1回

6/15(土) 16(日)

第2回

8/17(土) 18(日)

応募方法、募集要項の詳細は  
右記のQRコードより  
ご確認ください。



提出先・お問合わせ

社会医療法人近森会 看護部長室まで  
〒 780-8522 高知市大川筋1丁目1-16  
TEL. 088-822-5231



# 献血 キャンペーン&上位参加者表彰

2024年3月28日

定例の献血キャンペーンと、より献血推進を盛り上げるため、第4回上位参加者表彰を実施しました。

## 結果

- 協力者(受付者数) …… 53名
- うち献血できた方 …… 47名

## 受賞者

- 看護部 町田 清史 (下写真、前列左から2人目)
- 看護部 岩本 佐和 (下写真、前列中央)
- 秘書課 山崎 淑子 (下写真、前列右から2人目)
- 診療情報課 中山 久江 (当日欠席)
- ICT推進課 小原 健稔 (当日欠席)



前列左端、高知県赤十字血液センターご担当者様と受賞者、関係者にて記念写真。

## 献血を業務時間にできる病院の後押しで再開

秘書課 山崎 淑子 やまさき よしこ

大学時代に友人に誘われたのが献血を始めたきっかけでした。前職では忙しすぎて献血から遠のいていましたが、近森病院への入職をきっかけに再開。

近年は少子高齢化の影響で献血可能人口が減少している上に、ここ10年では10~30代の献血者数は約3割減少しているそうです。

「痛い、怖い、時間がかかる」といった印象を持たれがちですが、私もそうだったように一度経験すると印象が変わるかもしれません。わざわざ献血ルームに足を運ばなくても、業務時間内に気軽にできるので、まだ献血未体験の方も一度挑戦してみてはいかがでしょうか。



2024年度 献血キャンペーン開催予定 **6月・10月・3月**

## がん患者さんの抗がん剤治療をサポートする 漢方薬 〈其の3〉

近森病院 糖尿病・内分泌内科 部長 浅羽 宏一 あさば こういち



## 桃核承気湯 (とうかくじょうきとう)

### 桃核承気湯の薬能

- ◆ 大黄
- ◆ 芒硝
- ◆ 甘草

### 調胃承気湯

胃腸の働きを良くしてイライラなどの精神症状を緩和させる下剤

### ◆ 桃核

- ① 大便の滑りを良くする 油性下剤
- ② 血流改善

### ◆ 桂皮

- ① 体を温める
- ② 痛みを緩和させる
- ③ イライラを緩和させる

血流改善作用



今回も便秘薬のご紹介をします。

漢方薬は複数の生薬で構成されていますが、患者さんの症状に合わせて、一つずつ追加して作られてきました。桃核承気湯は前回ご紹介した調胃承気湯に、桃の種である桃核と、料理にも用いられる桂皮(シナモン)を加えたものです。

植物の種は油成分が多く、古くから下剤として用いられており、この桃核は調胃承気湯の便秘薬としての効果を高めるために追加されました。

植物は自分で種を遠くに運ぶことができないので、遠くにも移動する動物に食べてもらい、糞として排出させる生存戦略をとっています。このため植物の種には下剤としての作用があるのです。

桂皮は体を温め、痛みを止め、イライラを改善させる薬能をもつ生薬ですが、桃核+桂皮で末梢循環を改善させる薬能があり、末梢循環障害に伴う諸症状を緩和してくれます。末梢循環障害が原因と考えられる肩こりや腰痛を伴う便秘にも用います。

# あなたからの **ありがとう** を伝える運動 - 第2弾 -

シリーズ第1回

患者サービス向上ワーキンググループが、より良い職場の風土作りを目的として職員から感謝の言葉を募集し、先日掲示板で結果発表がありました。

送った人も送られた人も、そして聞いた人も気持ちの良い「ありがとう」を、当ひろっぴでも今月号からシリーズでご紹介していきたいと思えます。どうぞお楽しみに!

**募集期間** 2024年1月17~31日  
**方法** 各部署へ投書箱設置  
**主催** 患者サービス向上ワーキンググループ

## 近森正幸理事長(現相談役)へ



♥ これまで地域医療のためにご尽力いただきありがとうございます。私は理事長のビジョンや理念に共感し、これまで近森病院で働き続けてきました。そういった職員はほかにもたくさんいると思います。職員や患者さん、また病院に関わる多くの人…たくさんの人を活かす場を与えてくださったことに深く感謝しています。これからもご指導よろしくお願いたします。

♥ 今まで本当にありがとうございました。直接言える機会がないため、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

## 看護部の皆さんへ

♥ 私たちへの心遣いはもちろん、患者様への献身的なお世話、気持ちの通った看護、患者様の辛い心情を察して下さってありがとう。

♥ 各部署の中心となり、患者さんのケアにあたってくださり、ありがとうございます。最近はずっと求められることが多くなっていると思います。夜勤対応もあり体力的にも大変だと思います。患者さんに元気を提供し続ける皆さんに、バックオフィスから少しでも元気が届けられるように、日々考えながらサポートをしていきます。なかなかうまくサポートできていないことも多いのですが、現場で大変なこと、望まれていることなど、お聞かせください。



## ユニフォームが変わりました 2024年4月~

どうぞお見知りおきください。

### 看護師

パンツの色は、一般職が白、管理職から紺色。

折り返した袖の金色が夜勤者の目印です。17時以降は夜勤看護師にお声がけください。



### 歯科衛生士

春の華やかな色合いのユニフォームが新登場。



### リハスタッフ

腕にお馴染みの刺繍、PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)、CP(心理士)で職種を表記しています。

## 熱烈応援 昇格人事

2024年  
4月1日～

# 看護部 新体制へ

DX推進部の立上げ、  
近森病院、近森リハビリテーション病院の  
看護部長交代など、  
新体制へと生まれ変わります。



## 看護DX推進部 部長

吉永 富美 よしなが ふみ

### 看護師一人ひとりが自分の持っている 能力を活かして働ける職場を目指して

2024年4月より近森病院看護部長から看護DX推進部への異動となりました。看護部長を拝命して10年になります。当時、急になった看護部長ですが、皆様に支えてもらいながらなんとかやってきました。ずいぶんご迷惑もおかけしたのではないかと思います。教育や目標管理と一緒に頑張ってくれた森本志保さんや副看護部長に引き継いでもらうため、安心しています。

少子高齢化に伴う看護人員の不足は、当院においても例外ではありません。これまでの応援体制や人員不足は、看護師の負担を増大させ、看護師の離職に影響しています。現在、医療のDXは、医療サービスの効率化や質の向上のために推進されていますが、看護においても、ITを活用し、業務の効率化やケアの質の向上を進めていけるのではないかと考えています。

4月からは現場での時間を増やし、安全を最優先にし、スタッフの意見を取り入れた業務改善を行い、看護師一人ひとりが持つ能力を活かして働ける環境、やりがいを感じる職場を目指して取り組んでいきたいと思っています。



## 近森病院 看護部長

森本 志保 もりもと しほ

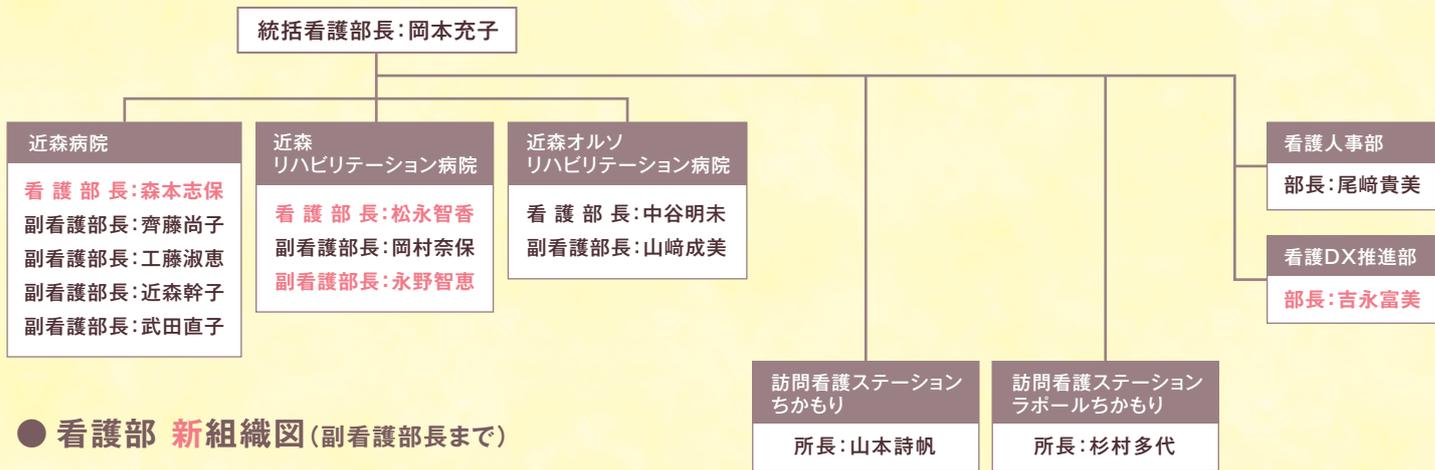
### 良い看護ができた実感できるように

長きにわたり看護部を牽引されてきました吉永看護部長からバトンを渡され、4月より看護部長に就任することになりました。これまで築きあげられたことを引継ぎ、病院理念のもと急性期医療や地域との連携に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

近森病院に就職してからは整形外科・内科病棟などを経験し、病院の支援を受けて大学院にも進学することもできました。10年ほど前からは、教育担当の副部長として病院全体における看護人材の育成を主に行ってきました。新人だったスタッフが現場で患者さんへケアを行い、リーダーとして成長している姿を見ていると、教育に携わってきて本当に良かったと思います。

近森病院の看護部は「思いやりの心で、考える看護・自律した看護・つなぐ看護を実践する」を理念に掲げています。思いやりの心とは一人ひとりを大切に思うことです。看護師の一人ひとりがやりがいを感じ、日常の業務の中で良い看護ができた実感できるような環境を整え、そして質の高い看護ができるようにしていきたいと考えます。

今後は様々な課題や困難なこともあると思いますが、他職種・部門の皆さんと協力して取り組んでいきます。これからもどうかよろしくお願いします。



● 看護部 新組織図 (副看護部長まで)

## 近森リハビリテーション病院 看護部長

松永 智香 まつなが ともか

### 生活まるごとの質向上を支援し、 「できる」を看護するチーム作りを目指す

私は9年間、近森会では体験したことが無い健康回復過程にある患者さんやそのご家族の看護と、地域の特性を踏まえた連携の在り方についての見識を深め広めるよう努めて実践し、この度戻ってまいりました。

回復期リハビリテーション病院における看護の役割は、理念に掲げてある「どのような障害があっても、患者さんが住み慣れたところでその人らしく安心して生活できる」ために365日24時間、ADLの回復と自立を支援すること、すなわち残存機能と生活まるごとの質について観察・評価し、患者さんの「できる」を看護することと考えています。そして、働くスタッフたちのワーク・ライフバランスを充実させることは、その支援を強化することにつながります。

「自らを知ることは他者を知ることの土台であり、自尊の念は他者を敬うことの基本である(後略)」(ヴァージニア・ヘンダーソン)。近森リハビリテーション病院を資源として活用してくださる患者さんやご家族、多くの病院や地域のニーズを可能な限り充足できるようスタッフ一人ひとりが自己の思いや生活を大事にしなが、質の高い医療を提供することができる看護チームを目指して頑張りたいと思います。



## 近森リハビリテーション病院 副看護部長

永野 智恵 ながの ちえ

### 回復期リハ看護の質と経営について考え行動できる自分へ

4月より近森リハビリテーション病院の副看護部長の任命を受けました。高校卒業後、近森病院へ委託生として就職し、看護師資格を取得後は急性期看護を主に実践し、15年前に看護師長となりました。看護師長任命と同時に脳神経系の病棟へ配属となり、近森リハビリテーション病院との連携を重要な職務の一つとして病棟管理を遂行してきたため、以前から回復期リハビリへの期待や思いは大きく感じています。この機会を最大限活かし、回復期リハビリの看護を学びながら、看護の質向上について看護師長やスタッフと語り実践につながるよう尽力していきたいと考えます。

医療界は、取り巻く環境の急速な変化や人財不足などに対応し適応していくための働き方改革はもとより、医療DX(変革)も求められています。私は、看護システムを担当し看護業務に係る業務改善やシステム構築を推進している立場でもあります。これからは近森病院のみならず近森会グループ全体の看護師長と協働し看護DXを行うことで、人財確保や経営への貢献につなげていきたいと思ひます。



## 熱烈応援 昇格人事

### ひとりひとりを大切に

画像診断部 診療放射線技師 技師長 田村 淳也

たむら じゅんや

近森会二世代目ジュニアの草分け、田村淳也です。入職当時、同僚は「名前」で、私は「田村看護師長の息子さん…」と紹介された記憶がよみがえります。29年越しに改めて自己紹介できた気がします。

私の起点はまさしく、参加者満足(PS)の向上を目指した多職種構成の「PSサポーター」の一人に選ばれたことです。講師の江藤先生との出会いは私を大きく変えました。若い頃は年中色黒、茶髪もロン毛も一通りやってきた私に「接遇のお手本になれ」など到底無理な注文でしたが、それがいつの間にかリーダーに…。PS研修では心の中で何十回も泣かされ、恥もいっぱいかきました。そのおかげで私は大きく成長できたように思います。この活動で得たことや、多職種の仲間ができたことは今でも私の強みです。

また、仕事も遊びも何事にも手を抜かず、一生懸命走り続けたことが今に繋がっていると実感しています。

おそらく、元祖近森を知る世代から、『近森魂』を直に受け継いだジュニア世代最後の技師長として、スタッフひとりひとりを大切に、学びを伝承していきたいと思います。これからも画像診断部をどうかよろしくお願いします。



### 礎となれるように

近森病院 薬剤部 科長

宮崎 俊明 みやざき としあき

主任昇格の際は自分を磨いて後輩も育てるという気持ちをひろっばに書きました。科長となる今回は自分のことより、主任としての経験を活かしながらさらに薬剤部を下から支え、スタッフの礎になれるようにという気持ちが強いです。薬剤部や病院全体を見渡し、その結果として患者さんの薬物療法に貢献できればと思います。



### 日々感謝

近森病院 薬剤部 科長

今西 清子 いまにし きよこ

近森病院へ入職して15年が経ちました。振り返ると、良かったことや大変なこと…様々な出来事がありました。私が今までやってることが出来たのも、まわりのスタッフのおかげだと感謝しています。これからはスタッフを支える側として、日々感謝の気持ちで仕事に励みたいと思います。



### 一日一善

近森病院 薬剤部 主任

亀谷 佐和 かめたに さわ

初めて病棟担当になったとき、先輩と決めた目標が「一日一善」でした。患者さんのために何か1つでも出来ることのないかな?と寄り添う気持ちを大切に、薬剤部の力となれるよう同期 田中と力を合わせ頑張っていますのでこれからもご指導よろしくお願いします。



### 何でもやってみる

近森病院 薬剤部 主任

田中 惇一 たなか じゅんいち

近森病院に就職してから早11年が経ちました。「何でもやってみよう」と仕事をしていたら、今では毎日違う病棟を担当するようになりました。服薬指導に行くと、いつもの薬剤師じゃないなという顔をされることが多いです。これからも初心を忘れずに日々頑張っていこうと思います。



## いきいきと働ける環境を目指して

診療支援部 医事課 部長  
竹崎 智博 たけざき ともひろ

この度、医事課部長を拝命しました。

私が、近森病院に入職した16年前から比べるとスタッフも徐々に増員となり、今では100人近いスタッフが所属する大きな部署となりました。これからは、医事課のみんながいきいきと働ける環境を整えるため、改革を頑張っていきたいと思います。そのためにも、業務効率化は必須でRPA(Robotic Process Automation)の活用や医療DXの導入等にも積極的に取り組んでいく必要があります。すでに、「紙カルテの廃止」や「集中会計システムの導入」などを検討しているところです。

目まぐるしく変化する医療情勢の中、診療報酬改定や医療DXへの対応など課題は山積みですが、これからの方向性をしっかりと見定め、現場の方々と情報共有しながら、医事課としてしっかりサポートしていきたいと思います。

近森病院が、患者さんからも職員からも「選ばれる病院」であるために、一日でも早く「頼れる医事課部長」と言われるように、心機一転頑張っていきたいと思います。今後とも何卒ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



## 「共育」を 心に留めて

近森病院附属看護学校  
教務主任  
上総 満高  
かずさ みつたか

看護学校が開校して10年目を迎えます。3月には7期生が卒業し、卒業生も277名となりました。多くの学生に出会い、互いに学びあうことで教員という立場に立たせてもらっていると感じます。これからは「何のために教員をしているのか?」と自問自答しながら、学生も自分も成長し続けられるように共に育みあう教員であり続けたいと思います。

## 明るく 積極的な 姿勢で

近森リハビリテーション病院  
作業療法科 科長補佐  
道倉 由美香 みちくら ゆみか

就職して20年が過ぎいつも周りの方に支えられて来た事に感謝しています。今後は、自分が支える立場として働きやすい職場作りに努めていきたいです。また、変化していく地域医療の中で、質の高いリハビリテーションの提供、情報発信の強化など、作業療法科の課題に向けて自分らしく明るく積極的な姿勢で取り組んでいきたいです。

## 書類の 向こうに 人がいる

総務課 主任  
田村 達彦 たむら たつひこ

3月16日より辞令をいただき、身の引き締まる思いです。

人事、労務管理を担う部署の一員として、働きやすい職場作りに貢献し、人手不足への対応ができるように尽力いたします。流れが早く慌たしい近森会ですが、課題への対応にあたっては書類の向こう側に人がいることを忘れず、「どうすべきか」の答えを探していきたいと思います。

## ハッスル研修医

## 2年目スタート

初期研修医 2年目 吉宗 洸 よしむね さえ

1年目の研修医生活が終了し、はや2年目となりました。1年目は分からないことだらけで、先生方やスタッフの方々に助けいただきながら、気づけば1年が終わっていました。なかなか成長を感じることができず、自問自答する日々です。先輩もでき、自分が教える立場になることもあり不安を感じていますが、教えることで自分も勉強していけるように励みたいと思います。

1年後には研修が終わり進路が決まってしまうため、この残された1年間の生活を大切に、様々な科の先生方から学んでいきたいと思います。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、引き続きよろしく申し上げます。



近森会グループ  
2024年度

# 入社式

2024年4月1~2日

小川町公園にて

中途入職者を含め173名が参加しました。

入社式恒例、小川町公園での記念撮影は、桜がちょうど満開で、華やかな幕開けとなりました。  
皆さんには支えあえる同期の仲間も、頼れる先輩たちもいます。新しい生活を一緒に元気に頑張りましょう!



▲ 近森相談役(前 理事長)から、近森会の歴史紹介など。



▲ 近森会入江新理事長の講話「幸せな人は幸せな人を作る」



▲ 毎年恒例、災害対策委員会 井原則之委員長による「近森会にとっての南海トラフ地震対策・災害対応レクチャー」。入職時から、医療従事者として南海大地震などの対応を考えます。



▲ 株式会社エイトドア原麻衣子先生による「社会人基礎講座 ～社会人に必要な心構えとスキル・ビジネスマナー～」



▲ 近森2年目の先輩から新入職スタッフへ歓迎メッセージ。



▲ 講話や配布資料から出題される「THE★近森検定」2024年度の成績優秀者第1位は、オルソ病院配属 伊與木 笑太PT。懇親会で急にコメントを求められ…。

入江理事長はじめ  
豪華講師陣による講話を受け、  
近森会グループについて  
学んだ新入職員。  
みっちり詰まった  
スケジュールの2日間、  
お疲れ様でした!

# New face

ニューフェイス

新しく入職した医師を  
紹介します。

- 1 所属
- 2 出身地
- 3 最終出身校
- 4 卒業年次
- 5 趣味など



江口 直輝  
えぐち なおき

- 1 消化器内科
- 2 大阪府
- 3 高知大学
- 4 2022年
- 5 高知に来て10年目になります。読書と旅行が趣味です。院内旅行の復活を楽しみにしています。

柴田 真友子 しばたまゆこ

- 1 消化器内科
- 2 高知県
- 3 近畿大学
- 4 2021年
- 5 高校卒業後10年ぶりに高知へ帰って参りました。日々の診療に真摯にとりくんでいきたいと思ひます。



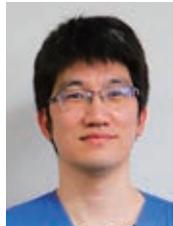
町田 彩佳  
まちだ あやか

- 1 消化器内科
- 2 高知県
- 3 高知大学
- 4 2017年
- 5 1年ぶりに高知に戻ってきました。食べたり飲んだり遊んだりして、高知を満喫します。



馬場 咲歩  
ばば さきほ

- 1 呼吸器内科
- 2 福岡県
- 3 久留米大学
- 4 2020年
- 5 内科からの集中医を目指して愛知で勉強してきました。少しではありますが、ご恩返しができたらと思っています。



松田 英之  
まつだ ひでゆき

- 1 循環器内科
- 2 兵庫県
- 3 高知大学
- 4 2013年
- 5 尼崎総合医療センターで4年間、心不全多職種連携を学んで帰ってきました。学んだことをいかして頑張ります。



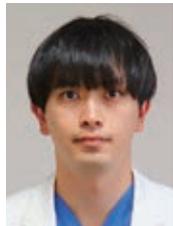
中山 拓紀  
なかやま ひろき

- 1 循環器内科
- 2 高知市
- 3 高知大学
- 4 2019年
- 5 大阪、東京で研修して1年振りに帰ってきました。高知県の食事が一番だと感じました。



山口 宗祥  
やまぐち ひろよし

- 1 循環器内科
- 2 東京都
- 3 高知大学
- 4 2020年
- 5 趣味はドライブやフットボールをすることで。仕事と両立できるように頑張ります。



常見 勇太  
つねみ ゆうた

- 1 循環器内科
- 2 東京都
- 3 順天堂大学
- 4 2021年
- 5 東京の聖路加国際病院から参りました常見です！学生時代は、バスケットに打ち込んでいて、2年間Bリーグの練習生としてプレーしました。初めての地方暮らしで緊張していますが、みなさんと仕事できるのを楽しんでいます！



甲斐 陽介  
かい ようすけ

- 1 循環器内科
- 2 神戸市
- 3 北里大学
- 4 2021年
- 5 小学校・中学校はバスケット部、高校・大学はサッカー部に所属していました。根っからの体育会系です。最近はゴルフにハマっています。でも一番の趣味は読書です。インドアとアウトドアを兼ねそなえていますので、よろしくお願ひいたします。



織田 彩花  
おだ あやか

- 1 循環器内科
- 2 東京都
- 3 東京女子医科大学
- 4 2021年
- 5 初めての高知なので、この半年で、たくさん高知のことを知りたいと思ひます。美味しいお店などを教えてもらえたら嬉しいです。



桑原 明日香  
くわはら あすか

- 1 循環器内科
- 2 東京都
- 3 東京医科大学
- 4 2020年
- 5 東京生まれ、東京育ちです。高知に来たので、いろいろなことが出来たら…と思ひています！



草野 雄己  
くさの たけみ

- 1 循環器内科
- 2 山梨県
- 3 千葉大学
- 4 2019年
- 5 旅行、温泉が好きです。今年はゴルフにも挑戦したいです。人と話すのが好きなので気軽に話しかけてください。



吉本 龍太郎  
よしもと りゅうたろう

- 1 総合内科
- 2 高知市
- 3 高知大学
- 4 2021年
- 5 3年目は高知大学で研修をしていました。スキューバダイビングや旅行、温泉や美術館巡りが好きです。



河瀬 弘代  
かわせ ひろよ

- 1 形成外科
- 2 大阪府
- 3 高知大学
- 4 2018年
- 5 1年ぶりに帰ってきました。また皆さんと働けるのが楽しみです。



枝重 光洋  
えだしげ こうよう

- 1 整形外科
- 2 高知市
- 3 大阪医科大学
- 4 2006年
- 5 健康のためにランニングを始めました。もうすぐ3人目の娘が産まれるので趣味は子育てです。

# New face

ニューフェイス

① 所属 ② 出身地 ③ 最終出身校 ④ 卒業年次 ⑤ 趣味など



**松本 慎**  
まつもと しん

- ① 整形外科
- ② 徳島県
- ③ 岡山大学
- ④ 2019年
- ⑤ 趣味はバスケットボールとゴルフです。お酒を飲むのも大好きなので、高知の居酒屋を紹介してください!



**坂田 慎一郎**  
さかた しんいちろう

- ① 整形外科
- ② 岡山県津山市
- ③ 愛媛大学
- ④ 2021年
- ⑤ 趣味はフットサルやボルダリングです。高知に知り合いがあまりおらず、休日は家で過ごすので同じ趣味の方おられましたら、ぜひ遊んでください。



**西森 友俊**  
にしもり ともとし

- ① 整形外科
- ② 高知県
- ③ 高知大学
- ④ 2022年
- ⑤ 高知医療センターで初期研修を終えました。専攻医1年目です。釣りとよさこいが好きです。



**鍵本 奈緒**  
かぎもと なお

- ① 脳神経外科
- ② 高知県
- ③ 高知大学
- ④ 2018年
- ⑤ 休日は愛犬、愛猫と外出するのが楽しみです。



**藏野 吉隆**  
くらの よしたか

- ① 泌尿器科
- ② 兵庫県
- ③ 高知大学
- ④ 2019年
- ⑤ 泌尿器科4年目の藏野と申します。オンとオフの切り替えを大切に精一杯やっています。



**坂本 礼聡**  
さかもと ひろあき

- ① 消化器外科
- ② 福岡県
- ③ 九州大学
- ④ 2019年
- ⑤ 半年ぶりに帰ってきました。今年の目標はダイエットです。

## 初期研修医



**塩見 真弘**  
しおみ まさひろ

- ① 初期研修医たすぎげ1年目
- ② 高知県
- ③ 兵庫医科大学
- ④ 食べるのが好きです。

**岡本 大輝**  
おかもと だいき

- ① 初期研修医たすぎげ1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 学生時代はソフトボール一筋でした。これからは筋トレを趣味にして健康的に過ごしていきたいです!

**八木 啓**  
やぎ けい

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県
- ③ 久留米大学
- ④ 中・高・大学と軽音楽部でギターボーカルでした。暫く高知を離れていたため、色々なお店を開拓したいです!

**秋澤 麗菜**  
あきさわ れいな

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県
- ③ 高知大学
- ④ 高知県で生まれ育ちました。運動することが好きです。元気に明るくをモットーに日々精進して参ります。



濱田 円  
はまだ まどか

- ① 消化器病センター
- ② 高知県
- ③ 岡山大学
- ④ 1987年
- ⑤ 消化管外科を専門に行ってきました。近森病院から、全国に発信できる消化器病診療を目指しています。



杉本 健樹  
すぎもと たけき

- ① 乳腺外科
- ② 東京都
- ③ 高知医科大学/同大学院
- ④ 1985年/1989年修了
- ⑤ 趣味は、旅とお酒。仕事も趣味のうちかもしれません。みなさんと笑顔で仕事をして、美味しいお酒を飲みたいと思っています。



柳川 信子  
やながわ のぶこ

- ① 乳腺外科
- ② 高知市
- ③ 高知大学
- ④ 2016年
- ⑤ 猫6匹かっています。動物好きさん、ぜひ話しかけてください!



中嶋 桃子  
なかじま ももこ

- ① リハビリテーション科
- ② 高知県
- ③ 高知大学
- ④ 2021年
- ⑤ ラーメン屋さん巡りが好きです。

① 所属 ② 出身地 ③ 最終出身校 ④ 趣味など

### 池田 裕菜

いけだ ゆな

⑤

- ① 初期研修医1年目
- ② 和歌山県 ③ 大阪医科薬科大学
- ④ 大学では軽音楽部に所属し、パートはドラムでした。高知では美味しいご飯をたくさん食べたいです。

### 田村 諒太

たむら りょうた

⑥

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 趣味は音楽とスポーツです。人と話すのが好きなので、居酒屋やご飯屋さんをより一層開拓したいと思っています!

### 佐野 貴昭

さの たかあき

⑦

- ① 初期研修医たすぎがけ1年目
- ② 新潟県 ③ 高知大学
- ④ 県外出身ですが高知の魅力にハマってしまい、そのまま住み続けることにしました!高知のお酒が大好きです!

### 絹川 仁康

きぬがわ のりやす

⑧

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 中高大の12年間、テニス部に所属していました。次はゴルフに挑戦してみようと考えています。

### 竹倉 皓大

たけくら こうだい

⑨

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 大学ではソフトボール部に所属していました。ドライブや体を動かすことが趣味です。

### 藤光 涼太

ふじみつ りょうた

⑩

- ① 初期研修医1年目
- ② 広島県 ③ 高知大学
- ④ 趣味はサッカー・ゴルフです。明るい性格なので、積極的にコミュニケーションをとっていきたいです。

### 大東 雄太

おおひがし ゆうた

⑪

- ① 初期研修医1年目
- ② 奈良県 ③ 高知大学
- ④ 趣味は釣りとギターです。メーターoverのアカメを釣るべく鏡川に通っています。

### 宮地 博紀

みやじ ひろき

⑫

- ① 初期研修医1年目
- ② 高知県 ③ 高知大学
- ④ 趣味は陸上競技や温泉巡り、美味しいご飯を食べることです。全てに全力で取り組んでいきたいです。

# 職員募集中!



3,000とおりの誇れる仕事

募集職種

- 医師
- 看護師
- 介護福祉士
- 救急救命士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 薬剤師
- 臨床検査技師
- 臨床工学技士
- 診療放射線技師
- 事務

詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



## 手足のスタンプで作ったよ! 保育室「そると」の 応援ポスター





## リレーエッセイ

### おでかけ

近森病院 外来センター 看護師  
坂本 由希 さかもと ゆき



夫の転勤で高知に来て1年が経ちました。子どもを連れて遊びに行ける無料のレジャー施設が高知にはたくさんあり、とても助かっています。

この1年の間に、桂浜やバババパーク、弥右衛門公園など少しずつ出かけてみていますが、なかでもよく行くのが我が家から比較的近くにある「わんぱくこうち」です。

夏場には滝で水遊びもできるので、子どもたちは大喜びでした。遊んだ後に食べるアイスクリンがみんな大好きです。園内の動物たちの中では、チンパンジーが家族みんなのお気に入りです。チンパンジーのヤマトが興奮した時に窓ガラスを蹴るのを見て、子どもたちも「きゃーっ」と大興奮しています。動物たちとの触れ合いも楽しめるので、また近々会いに行きたいと思います。

他にもおすすめのおでかけスポットなどあれば、いろいろ教えてください。



## 私の趣味

### オススメの リフレッシュ方法

近森リハビリテーション病院  
リハビリテーション部 言語聴覚士  
井上 茉優 いのうえ まゆ



私は食べるのが大好きで、中でも甘いものには目がありません。休日は甘いものを食べによくカフェに行きますが、自分が何となく好きだな〜と感じるカフェに共通点があることに気づきました。それは自然に触れながら過ごせるカフェです。高知県には山や海、川の近くなど自然を間近に感じられるような場所にカフェ



▲ shimantoおちゃくりcaféさんのモンブラン。

がたくさんあります。自然に触れることでよりゆったりとした時間を過ごすことができている気がして好きです。

甘いものにもストレスを和らげたり、リラックスさせる効果があるようですが、自然に触れることでも同様にストレス軽減やリラックス効果、

その他集中力の改善や免疫力アップ等たくさんの良い効果があるようです。身近で手軽にリフレッシュできるのもいい点で、とてもおすすめです。



▶ Berry農園山本さんでイチゴを満喫。

まるまる FREE 私の〇〇 〇〇にフリーワードを入れて語っていただきました

### 私の「2024最初の挑戦」

近森病院 6階B病棟東 看護師 胡本 小雪  
えべすもと こゆき



今年の2月、私は龍馬マラソンに挑戦しました。42.195km、どれくらい大変な道のりなのかは本番まで理解出来なままでした(笑)。少しずつランニング程度で練習を重ね、体力が付いてきているのを身を感じた時は少しだけ嬉しかったです😊

そして当日、まずは晴天で暖かくお天気に恵まれていたお陰ですごく日焼けをしました。想像以上の応援とボランティアの方に元気を貰いながら無事完走することができました!ほとんどが「しんどい、足が痛い」で頭がいっぱいでしたが、ちょこちょこ会える知り合いや一緒に走ってくれた彼にはすごく助けられました。春野運動場の芝生で寝転んだ瞬間は最高でした☆

いつかは東京マラソンを走ってみたいな〜と思ったり…(笑)。走りきれたことは自分の中でも何らかの成長にはなったと思うので、この貴重な経験を大事に、辛いことも「楽しい」に変えていけたらいいなと思っています。





# 看護学校通信

## 基礎看護学実習Ⅱで学んだこと

近森病院附属看護学校 2年生 北添 美紅 きたぞえ みく

実習期間 / 2024年3月4~8日

**私** は3月4日から5日間、近森病院7A病棟で実習をさせていただきました。初めて患者さんを受け持ち、大量の情報を結びつながらアセスメントしたり、一部のケアを指導者さんと実施させていただいたりして、根拠に基づいた実践の大切さを学ぶことができました。

受け持ちやケアに応じてくださった患者さんやご家族の方、私たちの指導をしてくださった病棟の方々、様々な職種の方々への感謝を忘れず、実際に見て実施できる場があることに感謝し、これからも勉学に励みたいと思います。本当にありがとうございました。



3学期の終業式後に、病院看護部へ異動となる教務主任の西本先生を囲んで。

## OPEN CAMPUS

6/9 SUN 7/28 SUN 8/17 SAT

10/27 SUN 2025 3/22 SAT

詳細は  で検索、または右のQRコードより公式ホームページをご確認ください。社会人や保護者の方の参加も大歓迎です。



## 歳時記

### 保育室そるとの修了式

(2月22日) (お別れ会)



健やかな成長を願っています

修了証書の受け取りに堂々と臨む子ども達の姿に、改めて成長を感じました。これからもたくさんのお友達に恵まれ、笑顔いっぱいの毎日を過ごせますように。



## 編集室通信

今年も職場の桜が満開となり、あっという間に花びらが散ってしまった。日本人が桜を好きな理由の一つには諸行無常の漂う花の散り際があると思う。散りゆく花びらを眺めていると、寂しさや悲しさとともに何かが終わった安心感のような感情が湧いてくる。桜瞑想という言葉があるように、ただ散る花びらを見ているだけで、心も体も桜の温かさ、美しさ、優しさで満たされました。 由似

## 診療数

令和6年3月

— 電子カルテ管理課 —

### ● 近森会グループ

外来患者数 ..... 15,613人  
新入院患者数 ..... 983人  
退院患者数 ..... 1,007人

### ● 近森病院(急性期)

平均在院日数 ..... 13.03日  
地域医療支援病院 紹介率 ..... 103.28%  
地域医療支援病院 逆紹介率 ..... 301.44%  
救急車搬入件数 ..... 595件  
うち入院件数 ..... 319件  
手術件数 ..... 537件  
うち手術室実施 ..... 344件  
うち全身麻酔件数 ..... 234件

## 保育室そると

### リトミック教室 はじめました!

歌や音楽に合わせて行うリズム遊び「リトミック」。しなやかな体と心づくりが期待されているそう!今後、毎月開催されます。



# 小田 和孝

Kazutaka Oda

近森病院 整形外科 科長  
日本整形外科学会 整形外科専門医  
日本スポーツ協会公認スポーツドクター

聞き手／ひろっぱ編集部

「70歳位までは働きたい。この道のスペシャリストとして携わり続けたい」と話す小田医師。「この道」とは、外傷とマイクロサージャリー(※)を指す。大学時代に「外傷なら近森へ」と勧められ、初期研修医から近森病院でそのまま進んだ。その後外傷の専門分野を深めるために国内留学を経験。そのスキルを武器に近森病院整形外科になくてはならない医師として活躍されている。

## 外傷で有名な2つの病院で研修

国内留学一度目は「新潟手の外科研究所病院」へ。その後、さらに高度な技術を習得するために「札幌徳洲会病院 外傷センター」で3年間の研鑽を積む。この徳洲会病院では、2年連続最多執刀医として表彰された。

「これには裏があって、全国から医師が学びに来るような病院なので、大きな手術は皆が入りたいのです。でもそれ以外の患者さんも次々と運ばれてきます。そちらを担当していたら、最多執刀医になって。もちろんマイクロを始め、たくさん症例に携わりました。北海道や近郊県、ロシアからも患者さんが搬送されてきていましたから」。この経験は整形外科医としての技術と自信を得られたことは間違いないだろう。

## 仲間との歓談でリフレッシュ

「最近ですか? 格別すごく楽しいということはないけど、日々楽しいのかな…」と充実感が漏れる。なかでも、仲良しの先生たちとの飲み会はやはり楽しみのよう。特に先輩

の井ノ口先生や田中先生(現 非常勤)とは月に1、2回は飲みに行く。「仕事や家庭の話、ほやき、とりとめのない会話が多いですね」と。

「話し上手な方が多くておもしろいですよ」と嬉しそうに話す様子からは、かなり息抜きになっているのが伝わった。

## 可憐で愛しい“花々”に囲まれて

プライベートでは妻と長女(小4)、次女(小3)、長男(年長)、秋田犬と暮らす。子どもには花にまつわる名前をつけており、その流れから犬の名は小梅ちゃん。小田医師は朝6時から約30kgの小梅ちゃんの散歩を1時間、その後長男を幼稚園に送ってから出勤する。



「なかなか家族サービスをしてあげられないので申し訳ない」とご家族に頭を下げつつも、「数年に一度はドイツニーランドに連れて行ってあげたい」とも話してくれた。「あそこでは僕もブーさんを身につけて楽しみます」と、子どもと一緒に楽しむ優しい父親の姿が垣間見えた。



外傷の  
スペシャリストとして  
歩み続けたい

## 「Excellent!」を目指して

近森病院整形外科には「近森クオリティ」と呼ばれる水準がある。これは圧倒的な経験値を誇った衣笠前統括部長の厳しい指導で培われた技術に対する自負。「衣笠先生のカンファレンスは緊張しました。先生の『はい次!』は及第点で、たまに『Excellent!』と言われると心でガッツポーズでした。患者さんの満足度はもちろん、今でもこの“Excellent”を目指して手術に取り組んでいる一面があります」。

小さな頃から手先が器用でプラモデル作りを長時間続けられるタイプだったというから、この仕事に適性があったのは想像に易い。「手術中は、長時間に及ぶ場合でも不思議と尿意をもよおさないですね。医師あるあるかな」と。それほどまでに集中できることに、この仕事の特殊さも感じる。

難しい手術の場合は、事前に手術をイメージしながら情報をまとめて、本番ではその通りに粛々と遂行する。そうすることで滞りなく手術が進むように取り組めるという。

手術では圧倒的な集中力を注ぎ込み、土日も病棟へ通う患者さん思いの一面もあり、「家族には病院大好きと思われている」とこぼす。取材の最後に「マイクロ手術は老眼になっても、もともと手術用拡大鏡を使用しているので続けられます。手が震えさえしなければ」と話された。その言葉に、外傷のスペシャリストとして歩み続けたいという強い意志を感じることができた。

※マイクロサージャリー…手術用の顕微鏡や針付縫合糸を用いて行う微細な外科手術。

